



社協だより

福祉わくや

2021.3
第144号

あらほの良いとこ、み~つけた！～見守り活動のススメ～

大勢で集うことが難しい今、見守り訪問活動に力を入れる行政区が増えています。

支えあおう



10区



上谷地区

訪問活動の実施に向けて、地域福祉会で打ち合わせをしました。後日、メンバーで手分けして全戸を訪問し、声かけを行いました。



猪岡区



11区

感染予防に配慮し、訪問時間は短くしましたが、「久しぶりだっちゃね～」「来てくれてありがとうございます」と笑顔があふれました。

- 涌谷町福祉事業所連携推進会議 2ページ
- 福祉学習出前講座 3ページ
きらり！ボランティア活動記
- 町民バスに乗ろう！プロジェクト 4~5ページ
おらほの支えあい企業、わくや地域まるごと会議 分科会
- ゆうらいふ通信 6ページ
面会制限続くなか、安心安全なweb面会に取り組みました
自宅で生き生きかいご

学びあおう：福祉学習・人材育成等
支えあおう：住民同士の支えあい・相談支援等
通じあおう：交流連携・情報共有等

- まるごと受け止める社協の相談窓口 7ページ
- お知らせ 8~9ページ
赤い羽根共同募金実績報告・御礼
令和3年度「かるが～るプラザ」の参加者を募集します
- 福祉活動の参考書が完成しました 10ページ
編集後記 等

学びあおう

支えあおう

通じあおう



涌谷町地域福祉活動計画「3つの活動方針」



連携による社会貢献の取り組みを

第5回涌谷町福祉事業所連携推進会議

町内20の福祉事業所に参画いただき、会議を開催しました。この会議では、町内の福祉事業所が連携し、地域住民同士が主体的に地域課題を把握し、解決に向けた試みを進めるための環境整備や、相談体制を整えることを目指しています。

日頃からのネットワーク構築に向けて

県内外の事例を参考に、「平時から大きな負担なく取り組むことのできる活動」について、グループワークを行い、検討しました。

高齢・障害・児童という多分野の関係者が集まることで生まれる、この会議ならではの意見もあり、今後の取り組みに弾みがつく内容となりました。

災害時における要配慮者支援に関する協定を締結しました

昨年8月から涌谷町福祉事業所連携推進会議において検討を重ねてきた、「災害時の要配慮者支援に関する協定」を涌谷町と締結しました。



「広報活動等共通する学びの機会を作ってはどうか?」
「専門職も困ったときに相談する先がわからないと悩んでしまう」
「子どもも大人も参加できる福祉事業所を巡るバスツアー等をやってみては?」



福祉事業所の連携について

構成員からの言葉



社会福祉法人向陽会
特別養護老人ホーム
施設長 「万葉苑わくや」
大坪俊男 様

特に、平常時から涌谷町と各福祉事業所が相互の連携と備えを密にすること、又、相互支援を円滑に行つためには、災害時を想定した研修・共同訓練で課題などを整理し、実効性の確保と要配慮者が地域にとけ込める環境づくりが不可欠であり、この会議の役目が重要となってくると考えています。

発災時に、町内の福祉事業所職員が「涌谷町災害時要配慮者支援チーム」の協力員として、地域で暮らす支援を必要とする方の避難活動にあたります。全国的にも先進的な取り組みであり、今後は地域との連携のあり方など具体的な内容を調整していきます。



福祉学習出前講座



町内小・中学校、高校の児童・生徒に対し、福祉啓発活動の一環として、福祉学習出前講座を行いました。講座をきっかけに、福祉に関心を持っていただき、心豊かに福祉の芽が大きく育つことを応援します。

福祉や介護に関する講義・体験



社協職員や介護分野の専門職が講師となり、福祉や介護保険制度の講義や福祉用具体験等を行いました。



視覚障がい・下肢障がいについて



障がいの当事者の方の講話やキャップハンディ体験を通し、ユニバーサルデザイン（障がいの有無に関係なく、すべての人が使いやすいうようにデザインすること）や声かけの必要性について学んでいただきました。



ボランティア活動記

あけぼの会

20年以上前に、当時の視覚障がい者福祉協会の文化祭などのお手伝いをしていたなかで、当事者の皆様から「自分たちが住んでいる町の情報を知りたい」との要望があり、これまで休むことなく、朗読した町報や社協だよりをカセットテープに録音し、視覚障がいをお持ちの方などへお届けしています。

新型コロナウイルス感染症の影響により集まって活動が出来ない時期もありましたが、会員それぞれが自宅で録音作業をしたり、フェイスシールドをするなど、感染予防をしながら活動しています。聞いてくれる方が一人でもいる限り、これからも心を込めて涌谷町の情報を伝え続けていきます。

朗読テープは視覚障がいをお持ちの方や高齢の方はもちろん、興味のある方などなたでもご利用いただけますので、ぜひご利用ください。また、一緒にボランティア活動をしてくれる方も大歓迎です！



町民バスに乗ろう！プロジェクト

「マイ時刻表」を作成しています！



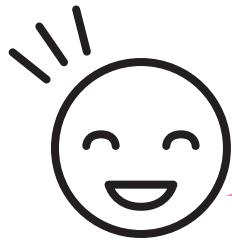
暮らしの足である町民バスを活用し、移動手段の確保や参加支援につなげるため、わくや地域まるごと会議（生活支援体制整備事業協議体）発信で始動したプロジェクトにおいて、「マイ時刻表」の作成を進めています。

今回は、実際に作成の申し込みをいただいた方へ「マイ時刻表」をお届けした後の声を紹介いたします。



○○へ行きたいのだけど、いつ
もちょうど良いバスがなくて…。

「マイ時刻表」を作成してみませんか？
いつもは利用しない路線を使えば、うまく移動ができるかもしれませんよ。



町民バスで乗り継ぎができるとは思わ
なかつたので、勉強になりました。
情報がまとまっていて、見やすいです。



○○さんのマイ時刻表（○○用）	
乗車するバス停 上本町 または 郵便局前	
目的地：涌谷公民館 最寄りのバス停：公民館前	
行き	帰り
上本町	公民館前
①篠岳線 (上り) 9:33	①篠岳線 (下り) 11:15 51 … 00
郵便局前	公民館前
ご希望 わざ用できるバスがありません。	①小里循環線 (成沢通り)
公民館前	イオンスーパーセンター
100円	①花勝山線 (下り) 12:55 ↓ 13:06 ①上郡循環線 12:07 ↓ 12:15
買い物の場合は、①のバスをご利用ください。 ご希望の場合は、①のバスをご希望ください。	上本町 郵便局前 かかるお金 200円 200円
上本町	郵便局前
公民館前	かかるお金 200円 200円

※「マイ時刻表」とは、町民バスを利用する一人ひとりに必要な情報（自宅近くのバス停・目的地最寄りのバス停・発着時間）のみを記載し、わかりやすくしたもので

えあおう



「マイ時刻表」作成ボランティアが大活躍！

わくや地域まるごと会議（協議体）構成員の方を中心に、パソコンが得意な男性たちがボランティアとして活躍中です。

基本的にはご自宅での個人作業ですが、必要に応じてメンバーが集まって打ち合わせを開催し、作業する上での課題や改善点等を出し合い、工夫を重ねています。



「情報を整理するために、エクセルでこんなシートを作ってみたんだけど、どう？」
「もっと見やすくするには、こんな工夫が必要では？」

作成してほしい方や興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

問い合わせ先 ☎43-6661(担当：地域支援係・高橋)



支えあい企業

支えあおう



高齢者や障がいをお持ちの方、妊娠中の方など、ちょっとした手助けが必要な方々が日常生活で困りごとを抱えた際に活用することができる、暮らしを支える様々なサービスを調査しています。

●たかぜん

高善

住 所 涌谷町本町31
電話番号 0229-42-2145

代 表 者 高橋 好園さん
実施内容

- ・商品の配達
 - ・買い物後の送迎サービス
 - ・お元気ですか？電話サービス
- 対 象 者 町内在住の方

まずはお気軽に電話ください！



お元気ですか？

電話サービスとは…

常連の方を中心に、ひとり暮らしの方へ電話をかけ、必要なものがないか確認しています。定期的に連絡するため、見守りにもつながっています。

活動の例



うちの美容室では、来店が難しい方に対して、ご自宅まで出張サービスをしています。



うちで購入してもらった商品は、希望があれば家までお届けします。



「うちもこんなことやってるよ！」、「そういえばあそこのお店で、こんなサービスやってたな」など、情報をお持ちの方はぜひ教えてください！

問い合わせ先 ☎43-6661(担当:地域支援係・高橋)

3月には構成員全員が集まり、協議を行つ全体会を開催予定です。

テーマⅢ「生活支援」

町民バスに乗ろう！プロジェクトについて、町の担当職員にも参加していただきながら、協議を行いました。

今後は移動手段の確保から暮らしの幅を広げるため、買い物支援等についても検討していくます。



テーマⅡ「集いの場」

後ろ向きではなく、コロナ禍だからこそ普及したこと、できることを見つけ、安心安全なつながり方を発信していくことを確認しました。

協議では、地域における同年代つながり、横のつながりの重要性についても話が及びました。



テーマⅠ「見守り活動」

町内で取り組みが広まりつつある「あんしん連絡カード」の普及に向けて協議を行いました。

また、各地域・団体等が行なっている見守り活動を整理し、涌谷町のネットワークとして結びつけていくことになりました。



わくや地域まるごと会議 分科会

支えあおう



～わたしたちは、あなたの「ゆう：You(利用者・家族・地域住民)」と併に、あなたの生活「らいふ：Life(人生・生命・生涯)」を大切にします～

面会制限続くなか、安心安全なWeb面会に取り組みました

～特別養護老人ホームゆうらいふ～



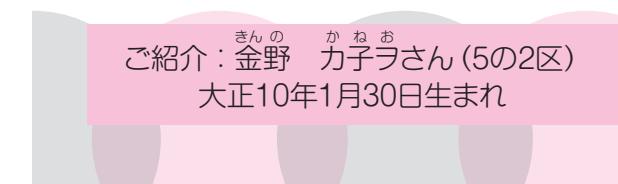
Zoomとは…

パソコンやスマートフォンなどを利用し、インターネット上で顔を見ながら会話することができるオンラインツールです。

カメラの位置、マイクの音量に大苦戦・・・
試行錯誤しながら、Web面会をはじめています。



ご紹介：金野 力子ヲさん(5の2区)
大正10年1月30日生まれ



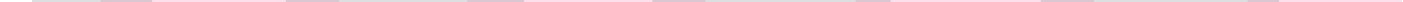
「いつまでも家族みんなで元気に！」

ゆうらいふデイサービスをご利用の金野力子ヲさんは、この度100歳を迎える内閣総理大臣、宮城県知事、湧谷町長から表彰されました。

長寿の秘訣を尋ねると、「規則正しい生活を送りながら、好き嫌いなく何でも食べる。特にトマトは毎日食べている」とのこと。また、近くに住むお孫さん家族が会いに来てくれることが楽しみで、「ひ孫と一緒に遊んだり、成長を見ることができて嬉しい」とおっしゃっており、家族の皆様と楽しい生活を送られております。



デイサービス利用時は、皆様との会話とレクリエーションを楽しめています。



まるごと受け止める社協の相談窓口

～ひとりで悩まず、気軽に相談を～

新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお悩みの方へ

日常生活で困りごとのある方へ

生活相談所

「毎日の生活が不安」「仕事のことで悩みがある」「今後どうしたらいいかわからない」等、ひとりで悩まず、まずはご相談ください。



開設日・場所

3月24日(水)・箒岳地域ケアセンター

4月28日(水)・ゆうらいふ

5月26日(水)・箒岳地域ケアセンター

時 間

13時から15時(予約不要)

その日の食べ物を必要としている方へ

フードバンク事業

生活が苦しく、その日の食べ物を必要としている方に食品等をお分けする活動を行っています。



まずは、お住いの地域の民生委員児童委員や涌谷町社会福祉協議会までご相談ください。

※「コープ東北サンネット事業連合」等から食品等の寄託を受け実施しています。外装が潰れてしまった等の理由により提供された食品等ですが、品質には問題ありません。

生活費でお困りの方へ(生活資金の貸付のご案内)

緊急小口資金特例貸付

対象者：新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し緊急・一時的な貸付が必要な世帯

貸付限度額：200,000円以内

据置期間：1年以内 償還期間：2年以内

連帯保証人：不要 貸付利子：無利子

申込期限は3月末まで。実施主体は、宮城県社会福祉協議会となります。

問い合わせ・申し込みは、涌谷町社会福祉協議会までご相談ください。

総合支援資金特例貸付

対象者：新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し日常生活の維持が困難な世帯

貸付限度額：月200,000円以内(二人以上)

月150,000円以内(単身)

貸付期間：原則3か月以内

据置期間：1年以内 償還期間：10年以内

連帯保証人：不要 貸付利子：無利子

生活安定資金

対象者：低所得世帯等

貸付限度額：50,000円以内

※特に必要と認めた場合は、70,000円以内

償還期間：1年以内

連帯保証人：必要 貸付利子：無利子

まずは、お住いの地域の民生委員児童委員や涌谷町社会福祉協議会までご相談ください。

小口生活安定資金

対象者：低所得世帯等で、特に緊急・一時的援護が必要な世帯

貸付限度額：10,000円以内

償還期間：2か月以内

連帯保証人：不要 貸付利子：無利子

その他、随時相談を受け付けております。お気軽にお問い合わせください。(平日9時～17時)

問い合わせ先 ☎43-6661(担当：地域支援係・草刈) メールアドレス mail20@wakuya-sfk.net

お知らせ

理事逝去のお知らせ

涌谷町社会福祉協議会理事の今野武則様が、令和3年1月18日にご逝去されました。ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

心温まる善意ありがとうございました

(12月18日から2月18日)

▼寄附金

・アルプスアルパイン株式会社
アルプスアルパイン労働委員会

10万円

▼寄附物品

・匿名様

お手玉21個、にぎにぎ棒20本
わくや大の会 様

おしぶり300枚

▼フードバンク事業のため

・涌谷ライオンズクラブ 様

食品等145kg

涌谷町ボランティアの会主催 城山公園清掃の開催中止について

涌谷町ボランティアの会主催で毎年実施しておりました「城山公園清掃」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

△問い合わせ先

地域支援係
☎ 43-6661

やりがいのある
活動です！



ボランティア活動保険に加入しましょう

ボランティア活動保険とは、活動中にによるケガや他人をケガさせてしまつたり、他人の財物を損壊した場合に補償する保険です。

安心してボランティア活動をするために、保険に加入しましょう。

▼保険期間 申込日翌日から **その年度内**

▼保険料 300円～700円
※加入プランによって異なります。

▼問い合わせ先 ☎ 43-6661
地域支援係・山田

配食サービス協力員を募集します

地域のひとり暮らし高齢者や、調理が困難な障がい者の方へお弁当をお届けする有償(1,000円／1回あたり)のボランティア活動です。

▼活動日時 月～金曜日(祝祭日除く) 15時50分～17時15分

▼配達範囲 自家用車による配達
涌谷町内

月1回からの活動も可能です。活動に当たっては保険に加入するため、安心して活動できます。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

△問い合わせ先 ☎ 43-6661 地域支援係・高橋

共同募金からのお知らせ

令和2年度赤い羽根共同募金運動への ご協力ありがとうございました

寄せられた募金は、宮城県共同募金会を通じて、令和3年度に民間福祉事業等(社協・福祉団体・ボランティアグループ等)に配分されます。



募金総額 2,567,817円

戸別	2,122,110円	企業	126,500円
街頭	0円	学校	67,816円
職域	181,249円	イベント	35,527円
個人	6,900円	募金箱	5,884円
ハートフルベンダー(自動販売機募金)			21,831円

(令和2年10月1日から令和3年1月31日まで)

豪雨災害に伴う義援金へのご協力ありがとうございました

全国各地で甚大な被害をもたらした豪雨災害の復興の一助として義援金の募集を行ったところ、地域住民の皆様より多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。

皆様のあたたかい気持ちと復興への祈りが込められた義援金は、全額被災地へ配分されます。

九州を中心とした豪雨災害義援金

・下町区自治会等行政区の皆様

合計56,700円

令和2年7月豪雨災害義援金

・涌谷町民生委員児童委員協議会、社協募金箱等

合計64,421円

令和3年度「かるが～るプラザ」の参加者を募集します

【開催期間：令和3年6月1日～令和4年3月31日】 ※祝祭日、年末年始はお休みです

対象者	町内在住の65歳以上の方で、健康や体力に不安のある方
開催コース	(1) 第1・3火曜コース 14:00～15:30 (全20回) (2) 第2・4火曜コース 14:00～15:30 (全20回) (3) 第1・3木曜コース 10:00～11:30 (全20回) (4) 第2・4木曜コース 10:00～11:30 (全20回)
定員	各コース25名 ※複数コースへの申込も可能です
会場	涌谷公民館交流ホール等
内容	わくわく体操、涌谷町国保病院所属の理学療法士または作業療法士による運動指導(月1回)等
料金	各コース3,000円 ※原則、会費の払い戻しは致しかねますのでご了承ください。
参加条件	・体力テスト(年2回)を受けられる方 ・連絡網作成にご同意いただける方
募集期間	4月5日(月)から4月23日(金)まで

※各コース定員を超える応募があった場合は、初めて「かるが～るプラザ」へ参加される方等を優先し、利用コースの調整をさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染症等の状況により開催が延期または中止になる場合があります。



問い合わせ先 ☎43-6661(担当：地域支援係・山田、三塚)

みやぎ地域福祉サポートセンター まもりーぶ



「まもりーぶ」では、主に在宅で一人暮らしをされている認知症や知的障がい・精神障がい等により判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス利用に伴う日常的な金銭管理面への支援などを行っています。

サービスの内容

- ・福祉サービス利用のお手伝い(情報提供など)
- ・日常的な金銭管理のお手伝い(定期訪問など)
- ・書類等のお預かり

利用契約及び支援計画により、サービスの提供を行います。

利用料金

- | | |
|--------------|----------|
| ・基本料金 | 700円／1か月 |
| ・サービス料金 | 500円／30分 |
| ・お預かりサービス | 300円／1か月 |
| ・サービス提供に係る旅費 | km数に応じて |
- ※サービス料金と旅費は減免になる場合があります。
※金融機関が設定する口座引落手数料がかかります。

まもりーぶとは、「まもる」と「ビリーブ(信じる)」を組み合わせた造語です。

問い合わせ先

大崎地域福祉サポートセンター ☎0229-25-3032
涌谷町社会福祉協議会 ☎0229-43-6661

福祉活動の参考書が完成しました

社協だより
福祉わくや

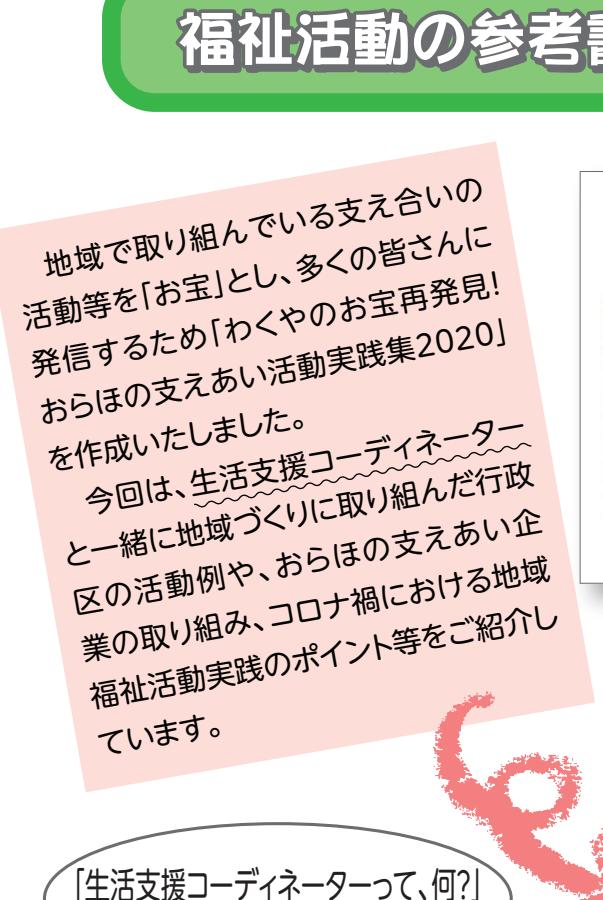
2021.3
第144号

通じあおう

編集・発行
ふれあいネットワーク
社会福祉法人涌谷町社会福祉協議会

地域で取り組んでいる支え合いの活動等を「お宝」とし、多くの皆さんに発信するため「わくやのお宝再発見!おらほの支えあい活動実践集2020」を作成いたしました。

今回は、生活支援コーディネーターと一緒に地域づくりに取り組んだ行政区の活動例や、おらほの支えあい企業の取り組み、コロナ禍における地域福祉活動実践のポイント等をご紹介しています。



「生活支援コーディネーターって、何?」「何をする人なの?」



そんな声にお応えする
1冊がこちら!

生活支援コーディネーターハンドブック

ホームページに掲載しております。
ぜひご覧ください。



わくやのお宝再発見!
おらほの支えあい活動
実践集2020



わくやの生活支援コーディネーターの役割 その1
わたしたちは、つなぎます!
暮らしの中のつなぐこと(ニード)と、つなぐ資源をつなぎ、解決策をります。
事例「駅を切りたいけど、お店まで行くのが難しい…」

涌谷町社会福祉協議会

Q検索

問い合わせ先 ☎43-6661 (担当: 地域支援係・高橋)

特にバスだけが移動手段の高齢者にとって「診療がおわった」「用足しが済んだのに帰宅したい」というタイミングでの足がない。よく耳にします。バスなどタクシーの様な存在であつた期待はふくらみます。辛抱強い働きかけから地域に新しい風が吹いてくれることを念じてあります。

広報委員

福祉わくや第144号のお届けです。
コロナ禍においても地域の方々に寄り添った活動を紹介しています。私の「おつやるね」コーナーは町民バスに乗ろう!プロジェクトです。硬直化していった運転形態の中でバスを利用せざるえない人達のニーズに着目し乗車を通して地域の不便は地域の力で便利「大丈夫」に変えていこうとの想いからスタートしています。

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がいの方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。
△問い合わせ先
☎43-6661 (地域支援係)
【朗読テープの貸し出し】
「わくやアゲルーフ」
【お仕事の例】